

## HTML5プロフェッショナル認定 レベル---技術解説無料セミナー

2021/7/11 開催

主題 1.2.2 CSSデザイン

副題ボックス関連仕様の基本をおさえよう!

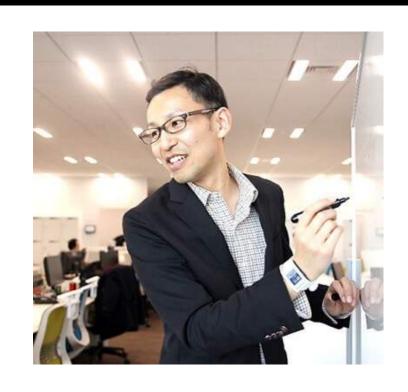
本日の講師

NTTテクノクロス株式会社 鈴木 雅貴





- **鈴木雅貴(SUZUKI Masataka)** 
  - NTTテクノクロス株式会社に所属
  - デザインの力で会社をよくしていく仕事
  - Web標準技術が得意
  - アヒル好き
- NTTテクノクロス
  - https://www.ntt-tx.co.jp/
  - NTT研究所の技術を軸として、世の中の優れた技術・サービスを掛け合わせ、お客様と共にみらいを共創していきます。







■ HTML5プロフェッショナル認定試験の対策テキスト

『HTML5プロフェッショナル認定試験 レベル1 対策テキスト&問題集』

『HTML5プロフェッショナル認定試験 レベル2 対策テキスト&問題集』





### ■ HTML5プロフェッショナル認定とは

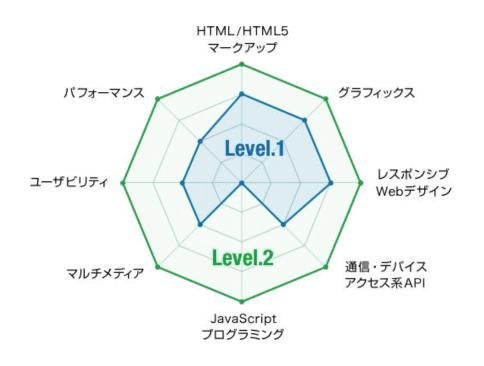
WEBサイトやWEBアプリケーションを開発する上で必須である HTML5/CSS/JavaScriptなどについての技術力を証明する認定です。基礎から網羅的に学ぶことは、効率的に開発を行う上できっと役立つことでしょう。

### ✓レベル1はHTMLとCSS

HTMLの基本的な部分からレスポンシブデザインが中心で、サイト制作のためのスキルの証明

### ✓レベル2ではJavaScript

JavaScriptを使ってWEBアプリケーションを構築できるだけのスキルの証明





### 今回のテーマ

## ボックス関連仕様の基礎をおさえる





- ボックスとは
- CSSでのボックス操作
- ボックスタイプ
- CSSでのボックスタイプ指定
- まとめ



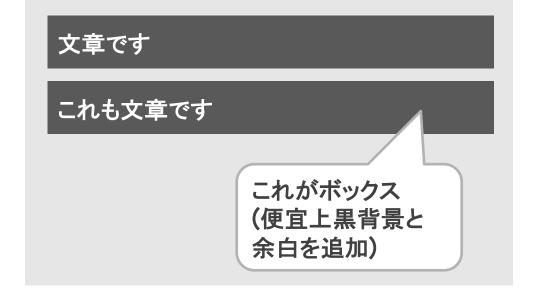
# ボックスとは

- Webブラウザは、HTMLの要素を長方形の箱として配置する
- この長方形の箱がボックス

#### HTML

文章ですこれも文章です

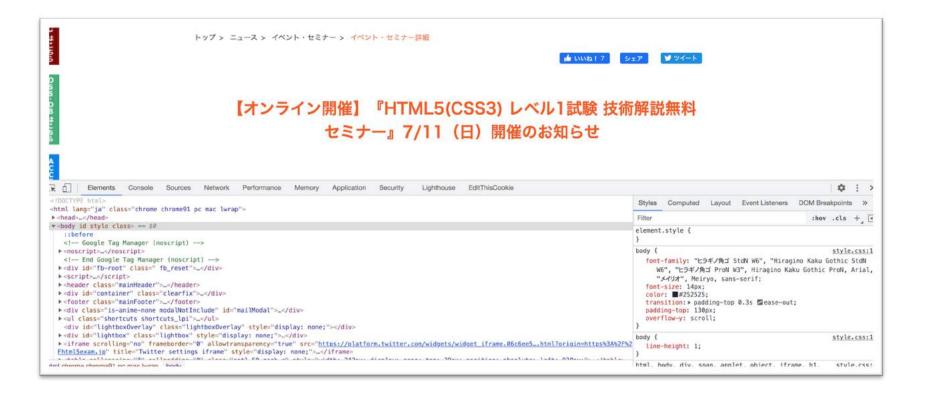
#### 画面イメージ





### ボックスをWebブラウザで確認してみよう

- **Webブラウザの開発者ツール(デベロッパーツール)を使う**
- サイトを表示した状態でF12キーを押すと起動







- 「Elements」タブからHTMLとCSSを確認できる
  - 一時的な編集も可能
- Chromeでは、確認したいパーツを右クリック →「検証」で、 対応する要素を選択した状態にできる
  - 要素選択モードボタンを使っても同様に選択可能





■ 水色で選択された...が、水色の 四角であるボックスに対応





- ボックスは、Webブラウザが、HTMLの要素を長方形の箱として 配置したもの
- **Webブラウザの開発者ツールで視覚的に確認できる**



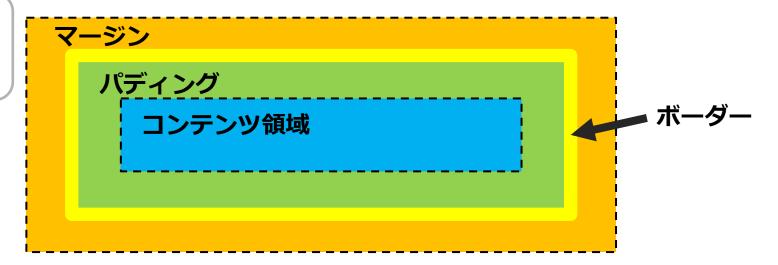
# CSSでのボックス操作



### ■ ボックスは以下4つで構成されている

コンテンツ領域	コンテンツが表示される領域
パディング	ボーダー内側の余白
ボーダー	ボックスの境界
マージン	ボーダー外側の余白(外の余白なので大きさに含まない)

Chrome開発者ツール に色を合わせてます

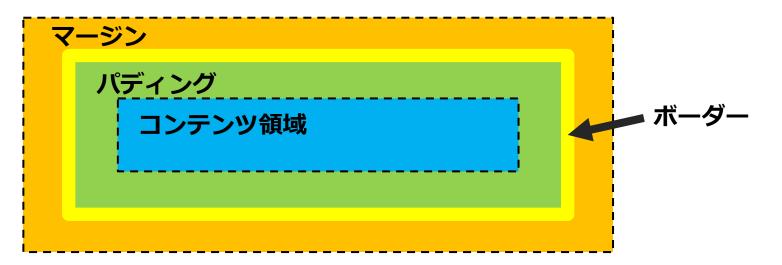






### ■ ボックス構成要素のサイズは以下のプロパティで指定可能

コンテンツ領域	width(幅), height(高さ)
パディング	padding
ボーダー	border(ショートハンド), border-width
マージン	margin



- boxクラスを以下のボックスにする
  - コンテンツ領域の幅100px、パディング16px、ボーダーは幅 8pxの黒い直線、マージン16px

#### **CSS**

```
.box {
  width: 100px;
  padding: 16px;
  border: 8px solid #000;
  margin: 16px;
}
```



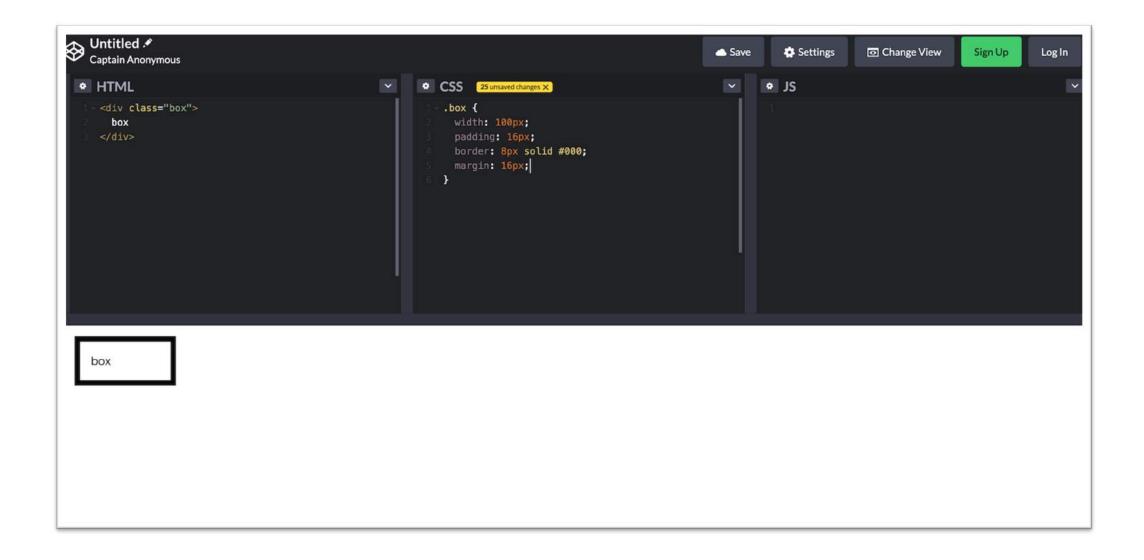


- ブラウザ上でHTML, CSS, JavaScriptを書いてリアルタイムで確認できるCodePenが便利
  - https://codepen.io/
- **左上の「Start Coding」からコードを書く画面にいける**
- ユーザ登録すると作成したコードを残せる





### 試しにCodePenで書いてみる





■ 以下のCSSが指定されたボックスの横幅は?

```
.box {
  width: 100px;
  padding: 16px;
  border: 8px solid #000;
  margin: 16px;
}
```

右の1~4から選択してください

- 1. 100px
- 2. 132px
- 3. 148px
- 4. 180px



- ボックスの横幅はコンテンツ領域+パディング+ボーダー
  - コンテンツ領域の幅: 100px
  - パディングの幅: 16px \* 2 = 32px
  - ボーダーの幅: 8px \* 2 = 16px

上記の計: 100px + 32px + 16px = 148px

# <u>答え: 148px</u>





- ボックスの幅は、width+padding+border
- 直感的には、widthがそのままボックスの幅になってほしい
  - レイアウトを考えるときにいちいち計算するのは面倒
  - heightにおいても同様
- この要望に答えるべく、サイズの算出方法を変更するCSSプロパティ box-sizing が登場



### box-sizingプロパティ

- box-sizingプロパティで、要素全体の幅と高さの算出方法を変更することができる
- 指定できる値は以下

content-box	width, heightで指定した値が、コンテンツ領域の幅と高さになる(デフォルト)
border-box	width, heightで指定した値が、コンテンツ領域+パディング +ボーダーを含んだボックスの幅と高さになる

- さきほどのboxクラスにbox-sizing: border-boxを追加
  - ・ ボックスの幅はwidthで指定した100pxになる

#### **CSS**

```
.box {
  box-sizing: border-box;
  width: 100px;
  padding: 16px;
  border: 8px solid #000;
  margin: 16px;
}
```



■ 以下のCSSが指定されたボックスのコンテンツ領域幅は?

```
.box {
  box-sizing: border-box;
  width: 100px;
  padding: 16px;
  border: 8px solid #000;
  margin: 16px;
}
```

右の1~4から選択してください

- 1. 100px
- 2. 68px
- 3. 52px
- 4. 20px



- box-sizing: border-boxなので、ボックスの横幅はwidthで指定された100pxで、コンテンツ領域はこの100pxからパディングとボーダー分を除いたもの
  - パディングの幅: 16px \* 2 = 32px
  - ボーダーの幅: 8px \* 2 = 16px

上記から: 100px - 32px - 16px = 52px

# 答え: 52px

- ボックスは「コンテンツ領域」「パディング」「ボーダー」「マージン」の4つから構成される
  - サイズ計算にマージンは含まない
- CSSでのサイズ指定はwidth,heightと、paddingと、borderと、marginを使う
- box-sizingプロパティでサイズの算出方法を変えられる



# ボックスタイプ

### CSSにおけるボックスタイプ

### ■ CSSにおけるボックスタイプには2種類ある

ブロック	<ul><li>ボックスは横に伸び、可能な限りスペースを埋める</li></ul>
	<ul><li>ボックスが新しい行を作る</li></ul>
	• widthとheightでサイズ指定可能
	<ul><li>コンテンツを入れる枠となるイメージ(例: p要素)</li></ul>
	<ul><li>中にブロックとインラインを入れられる</li></ul>
インライン	<ul><li>コンテンツによりサイズが決まる</li></ul>
	<ul><li>ボックスは新しい行を作らず、横に並ぶ</li></ul>
	• widthとheightでサイズを指定できない
	<ul><li>行の一部となるイメージ(例: a要素)</li></ul>
	<ul><li>中にはインラインしか入れられない</li></ul>



### ブロックとインラインのイメージ

#### ブロック

ブロックです これもブロックです 横いっぱいの幅で、要素ごとに 新しい行となり、縦に積まれる







- HTML4.01まで、ブロックかインラインかを要素ごとに指定
- HTML5から、ブロックとインラインは表示側の機能ということで、要素に指定されなくなった
  - ・ブロックとインラインはCSSの機能という扱い
- しかし、現在でもWebブラウザのデフォルトCSSでは、要素ごと にブロックとインラインを指定している
  - 参考: MDNのブロックレベル要素とインライン要素

- ボックスには大きく「ブロック」と「インライン」の2つがある
- ブロックはコンテンツを入れる枠のイメージ
- インラインは行の一部のイメージ



# CSSでのボックスタイプ指定



### displayプロパティでボックスタイプ指定

- **display**プロパティで、ボックスタイプを指定できる
- **■** 値はブロックならblock、インラインならinline

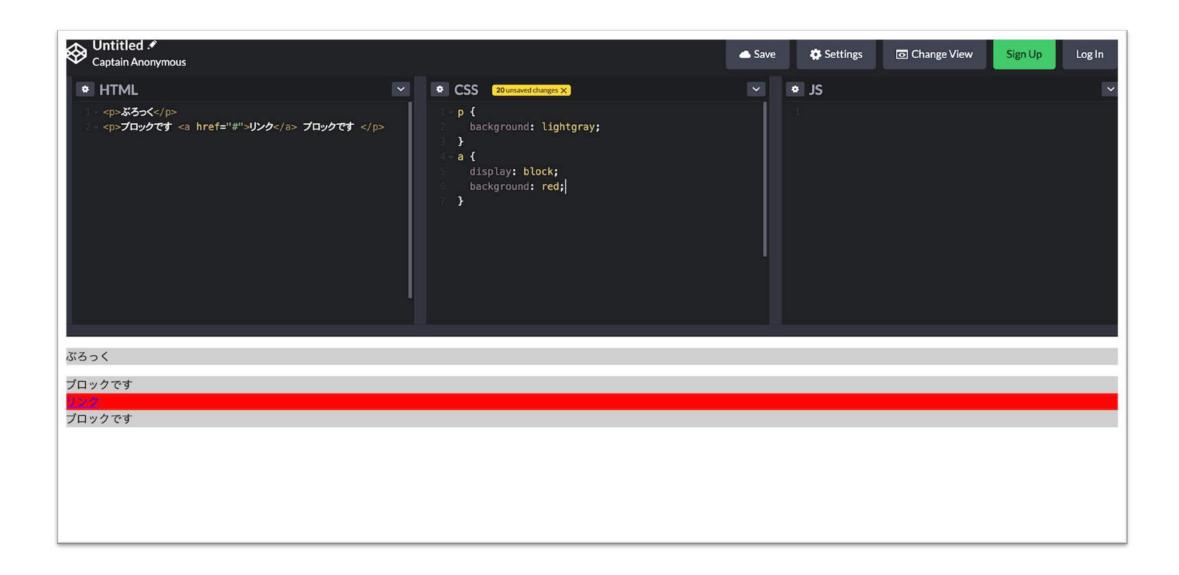
#### **CSS**

```
p {
  display: inline;
}
```

p要素はデフォルトではブロック だが、インラインに変更できる



### 試しにCodePenで書いてみる





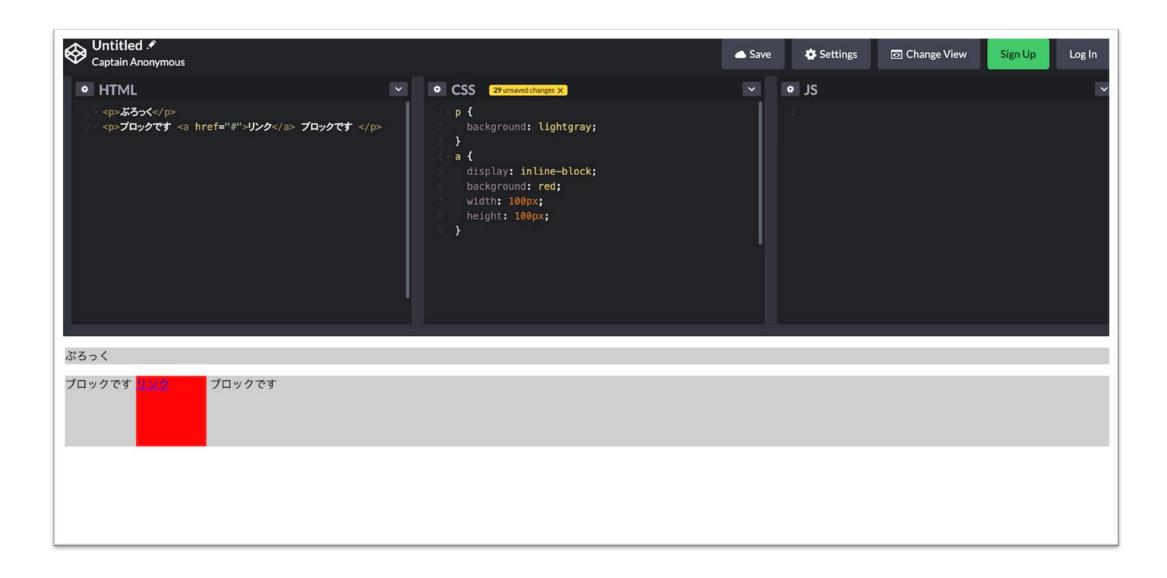
- **■** インラインではwidth, heightによるサイズ指定ができない
- ブロックのようにサイズ指定できて、インラインのようにレイアウトされるinline-blockがある

#### **CSS**

```
a {
  display: inline-block;
  width: 200px;
  height: 100px;
}
```



### 試しにCodePenで書いてみる





### displayプロパティについて

- displayプロパティの値は、block, inline, inline-block以外に もいろいろある
- 詳細はMDNのdisplayプロパティ解説を参照
- いろいろあるが、要素のレイアウトは上3つが基本となる

- displayプロパティでブロックやインラインを指定可能
- サイズ指定可能で、かつインラインのようにレイアウトされる inline-blockがある

- ボックスとは、Webブラウザが、HTMLの要素を長方形の四角と して配置したもの
- ボックスはコンテンツ領域、パディング、ボーダー、マージンから構成され、それぞれCSSでサイズを指定できる
- ボックスタイプにはブロックとインラインがある
- CSSでブロックとインラインを指定できる
- ブロックのようにサイズ指定ができ、インラインのようにレイア ウトされるinline-blockがある



#### MDN

- Mozillaが中心となって作成するWeb標準ドキュメントで、情報の信頼性はとても高い!
- https://developer.mozilla.org/ja/
- CodePen
  - Webブラウザ上からHTML, CSSを編集し確認できる
  - https://codepen.io/
- Webブラウザ開発者ツール